

「いろいろバス」



請求記号：キイロ・アカ

さく／*tupera tupera*
大日本図書 2013年



赤いバスがやって来ました。
ごろごろトマトが降りてきて、
にゅるりとタコが乗りました。
黄色いバスがやって来て…。

ユーモアたっぷり、おしゃれな色あそび絵本
です。

バスからだれが降りてくるのか、バスにだれ
が乗っていくのか、絵をじっくり見せるように。

「サンドイッチサンドイッチ」



請求記号：モモ

さく／小西英子
福音館書店 2008年



ふわふわパンにバターを
ぬって、レタスをのせて、
トマトをのせて、サンドイッ
チを作りましょう。

子どもに話しかけるように読み、ひとつひとつ
の具材をパンにのせていくと、子どもたちと一緒に
サンドイッチを作っているような一体感が出ま
す。

「やさいのおなか」



請求記号：モモ

さく・え／きうちかつ
福音館書店 1997年



野菜の断面のシルエット
の絵。「これ なあに」と
子どもたちに問いかけ、答
えてもらう参加型の絵本。

キャベツやかぼちゃ等、分かりやすいものから、
ねぎやさつまいも等、当てるのが難しいものまで
様々な野菜が出てくる。読んであげる子どもの年
齢に合わせてヒントを出すのもよいでしょう。
シリーズで「やさいのせなか」があります。

「おじさんのかさ」



請求記号：アカ

季節：梅雨

作・絵／佐野洋子
講談社 1992年



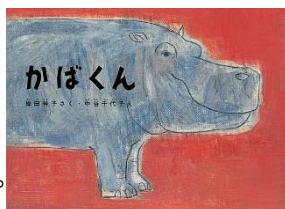
おじさんは、とても立派なか
さを持っていました。
でかける時は、いつも自慢の
かさを持っていきます。少しの
雨なら、おじさんはぬれて歩きます。
なぜって？かさがぬれるからです。

おじさんがかさを開く場面のページをめくる時
は、かさをパッと開くイメージで。

「かばくん」

請求記号：アカ

作／岸田衿子
画／中谷千代子
福音館書店 1966年



動物園に朝がきました。
かばくんがいます。
かばの子もいます。かめくんもいます。
日曜日の動物園は今日もにぎやか。

のんびりとしたお話の雰囲気を大切に、ゆったり
読むとよいでしょう。子どもたちが、じっくり絵を
見る時間でもできます。素朴で美しい文章を読み手
も味わってください。

「ぐりとぐら」



請求記号：アカ

さく／中川李枝子
え／大村百合子
福音館書店 1963年



野ねずみのぐりとぐら
は、お料理することと
食べることが大好き。
ある時、森の中でとっても大きなたまごを見
つけて、とびっきり大きなカステラを作ること
にしました。

カステラが焼きあがる場面は、絵と文章が合
うように、ページをめくるタイミングを調整すると
よいです。

「ぐるんぱのようちえん」

請求記号：アカ

さく／西内みなみ
え／堀内誠一
福音館書店 1966年



そうのぐるんぱは、町へ働きにやってきました。ビスケット屋のびーさんのところや、お皿作りのさーさんのところ。どこに行っても「もう けっこう」と言われてしまいますが、12人の子どもがいて大忙しのお母さんに頼まれて、幼稚園を開くことになりました。

くり返しの展開が最大の魅力。くり返しのリズムを大切に。

「しりとりのだいすきなおうさま」



請求記号：アカ

作／中村翔子
絵／はたこうしろう
鈴木出版 2001年



なんでもしりとりにならないと気がすまないおうさま。料理を食べるのもしりとり順番。サンドイッチ、ちくわ、わかめ……。困った家来たちは、何やらひそひそ相談しているようですよ。

4P～5Pの絵は、しりとりになっています。子どもたちと一緒にしりとりしてみてください。

「せんたくかあちゃん」



請求記号：アカ

さく・え／さとうわきこ
福音館書店 1982年



洗濯大好きせんたくかあちゃん。猫も犬も、靴も傘もソーセイも、なんでも洗濯してしまいます。なんと、雷様まで洗濯してしまいました。きれいに洗濯された雷様。あれ、洗濯されて顔がなくなっちゃった？

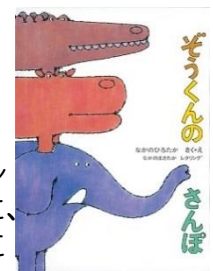
せんたくかあちゃんのセリフは、元気にはっきりと。全体的にハキハキと読んでいくとお話の爽快さが伝わります。

「ぞうくんのさんぽ」



請求記号：アカ

さく・え／なかのひろたか
レタリング／なかのまさたか
福音館書店 1977年



ぞうくんは散歩にでかけました。途中で出会ったかばくんと、わにくんと、かめくんとを背中にのせて、「うん うん、おもしろ」と、歩いていると……

池に落ちる場面は、めくるタイミングが大切。冒頭と最後の同じ一文、「きょうはいいてんき」は、ごきげんに。

「なにをたべてきたの？」



請求記号：アカ

文／岸田衿子
絵／長野博一
佼成出版社 1978年



しろぶたくんは、りんごを食べて、レモンを食べて、メロン、ブドウ、まだ何か食べるの？ぴかぴかのせっけんを食べてみたら、ぷくぷくとお腹の中でせっけんがいたずらを始めちゃった。

せっけんを食べてしまい、口からしゃぼん玉が……。出てくるものは身近なものだが、お話の展開はびっくり。

「ねずみくんのチョコッキ」



請求記号：アカ

作／なかえよしを
絵／上野紀子
ポプラ社 1974年



お母さんが編んでくれたねずみくんのチョコッキ。「いいチョコッキだね。ちょっときせてよ」とアヒル、シマウマ、最後にはゾウが、ねずみくんのチョコッキを着てみたら……

最後に、のびたチョコッキをゾウの鼻にぶら下げてねずみくんがフランクをしている絵をじっくり見せてください。

「はけたよはけたよ」

請求記号：アカ

ぶん／かんざわとしこ
え／にしまきかやこ
偕成社 1970年



たつくんは、ひとりでパンツがはけません。「えい、パンツなんかはかないや。」と外に飛び出して行ってしまいました。一本足で上手に立っている鷲を真似してみるけれど、しりもちをついてしまった たつくん。パンツをはけるようになるのかな？

2歳～3歳くらいが、たつくんに共感してお話を楽しめるでしょう。

「へんしんトンネル」



請求記号：アカ

作・絵／あきやまただし
金の星社 2002年



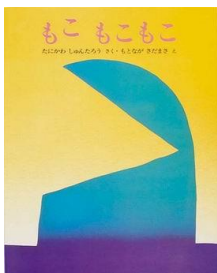
このトンネルをくぐると、あら不思議。みんな変身してしまいます。「とけい」が「けいと」に、「ぼたん」は「たんぼ」に変身。

書いてある文字にとらわれすぎず、「かっぱ」が「ぼかっ」と聞こえるようになったタイミングでページをめくりましょう。聞き手の子どもたちにも、一緒に声に出して読んでもらうとよいでしょう。

「もこもこもこ」

請求記号：アカ

作／谷川俊太郎
絵／元永定正
文研出版 1977年



「もこもこ」「によき」
「ぱく」「もぐもぐ」
「ぱちん！」

豊かな日本語の音と、絵のイメージが響きあう、ことば遊び絵本。

やや、読み手を選ぶ絵本です。読み手が、絵と言葉から何をイメージするかで印象ががらりと変わるので、下読みは念入りに。

「お月さまってどんなあじ？」

請求記号：ミドリ

絵と文／ミヒヤエル・グレイニェク
訳／いずみちほこ
セーラー出版 1995年



ある日小さなカメは、お月さまをかじってみようと思いました。でも、カメだけではお月さまにとどきません。ゾウ、キリン、シマウマ、ライオン、キツネ、サル、ネズミに協力してもらい、お月さままでとどくかな？

初めて読み聞かせする方におすすめの1冊。絵本を読み慣れない子どもにも聞きやすい絵本です。

「すてきな三にんぐみ」



請求記号：ミドリ

さく／トミー＝アンゲラー
やく／いまえよしとも
偕成社 1991年



黒マントに黒い帽子のこわい泥棒三人組。みなし子のティファニーちゃんと出会い、「集めたお宝はどうするの？」と聞かれます。これまでどうするつもりもなかった三人組。捨て子やみなし子を集めて、みんなで一緒に暮らすお城を買い、暮らし始めます。

コントラストがはっきりした絵は遠目がききます。

「はらぺこあおむし」



請求記号：ミドリ・ギン

さく／エリック＝カール
やく／もいひさし
偕成社 1989年



あおむしは、おなかがぺっこぺこ。月曜日、りんごをひとつ食べました。火曜日、なしをふたつ食べました。どんどん大きくなって、さなぎに、そしてきれいな蝶になりました。

読み聞かせを始めたばかりの方にも読みやすいしかけ絵本。子どもをひきつける鮮やかな絵とシブシブな展開で幅広い年齢の子どもが楽しめる。

「わゴムはどのくらい伸びるかしら？」 ☀

請求記号：ミドリ

ぶん／マイク・サーラー
え／ジュリー・ジョイナー
やく／きしだえいこ
ほるぶ出版 2000年



ある日、ほうやは、わゴムがどのくらい伸びるか、試してみることにしました。わゴムの端をベッドに引っ掛けて、バスに乗って、汽車に乗って、飛行機に乗って、ついにはロケットで宇宙へ。

短い文章をさらっと読んでしまうと、話の醍醐味が失われてしまいます。長いわゴムを引っ張っているイメージで、途切れず、ゆったり読みましょう。

「おおきなかぶ」 ☀

請求記号：チャ

再話／A.トルストイ
訳／内田莉莎子
画／佐藤忠良
福音館書店 1966年



おじいさんが、かぶを植えました。大きく大きく育ったかぶは、ひとりではぬけません。おばあさんと孫と犬と猫とねずみが引っ張って、「うんとこしょ、どっこいしょ」やっとかぶがぬけました。

最後は、表紙と裏表紙を開いてしっかり見せてください。かぶを持って帰るところまで見せて、お話はおしまいになります。

「三びきのやぎのがらがらどん」 ☀

請求記号：チャ

え／マーシャ・フラウン
やく／せたていじ
福音館書店 1965年



がらがらどん、という名前の三びきのやぎ。橋を渡ろうとすると「ひとのみにしてやる」と気味の悪いトルルが叫びます。1匹目、2匹目のやぎはトルルから上手く逃れ、3匹目の大きいやぎのがらがらどんは、トルルと対決。見事にトルルをやっつけます。

絵と文章がピッタリと合っているので初めての方にも読み聞かせしやすい絵本。後半、トルルとの対決の場面はスピード感を大切に。

「ねずみのすもう」 ☀

請求記号：チャ

文／神沢利子
絵／赤羽末吉
偕成社 1983年



ある日、おじいさんが山へ行くと「でんかしょ でんかしょ」と声がします。よく見てみると、ねずみがすもうをしています。すもうに負けたひよろひよろのねずみをかわいそうに思ったおじいさんは、大事にとってあった米で、もちをついてやることにしました。

貧しいながらも心優しいおじいさん、おばあさんとねずみの関係が温かい。日本の昔話を聞きなれない子に、ぜひ読んであげたい。

「いたずらきかんしゃちゅうちゅう」 ☀

請求記号：キイロ

ぶん・え／バージニア・リー・バートン
やく／むらおかはなこ
福音館書店 1961年



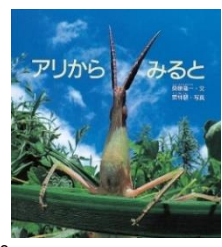
ちゅうちゅうは、真っ黒くて、ぴかぴか光るきれいでかわいい機関車。たくさんの人や荷物を乗せているけれど、ひとりで走ればもっと速く走れるはずと、ひとりで勝手に走りだしてしまい、みんなびっくり。

4～5歳向き。ほぼひらがなのみの文章は、読みづらい部分もあるので、下読みをしっかりと。

「アリからみると」 ☀

請求記号：486

文／桑原隆一
写真／栗林慧
福音館書店 2004年



昆虫の写真絵本。タイトルの通り、アリからみるとバッタも、カミキリムシも大迫力。

何よりも写真の力が大きい絵本なので、ページをめくったら、まずは写真を見てもらう間をしっかりとってから文章を読んでください。1ページに複数の昆虫が出てくる所は、指さしをして紹介してもよいです。

「わたしのワンピース」

請求記号：アカ

え・ぶん／にしきかやこ
こくま社 1969年



うさぎさんがワンピースを作りました。それを着てお花畑をお散歩するとワンピースが花模様に、雨が降ると水玉模様に…。次々変わるワンピースの模様。日本を代表するファンタジー絵本です。

「ラララン ロロロン」「わたしに にあうかしら」というフレーズが印象的な絵本。繰り返しのリズムを大切に読みましょう。

「バルボンさんのおでかけ」



請求記号：アカ

著／とよたかずひこ
アリス館 1998年



ワニのバルボンさん。てんきのいいあさ、おでかけです。「おはようございます」とあいさつしながら、ゆっくりのんびり、おでかけです。バスにのっておでかけです。さあ、どこへいくのかな？

バルボンさんの朝の様子を描いたお話。ゆったりとした時間が伝わるように、ゆっくりやさしく読むのがポイント。

「なまえのないねこ」

請求記号：アカ

文／竹下文子
絵／町田尚子
小峰書店 2019年



町の猫たちがみんなもっている「名前」に憧れている、ひとりぼっちの猫。自分の名前を探すことにします。名前のない猫が見つけた「ほんとうに欲しかったもの」とは？

心があたたかくなるお話。登場する猫たちの表情にも注目してほしい。最後の場面はやさしい雰囲気です。

「てぶくろ」



請求記号：チャ

え／エウゲーニー・M・ラチョフ
やく／ちだいさこ
福音館書店 1965年



おじいさんが森の中に手袋を片方落としました。雪の上に落ちていた手袋にネズミが住みこみました。そこへカエルやウサギが次々やってきて、「わたしもいれて」「ほくもいれて」と入っていきます。最後には大きなクマもやってきて…。

それぞれの動物にあった会話のテンポを意識しながら読むといいでしょう。

「このあななんじゃ ひがたのいきものへん」

請求記号：ギン

え／みぞぐちともや
仮説社 2020年



その「あな」には、想像もつかないような生き物がすんでいる！？海の水が引いたあとの干潟。ふしぎでおもしろい生き物たちがあらわれて…。楽しいしかけ絵本。

「なんじゃ なんじゃ このあな なんじゃ」をリズムカールに読むと、楽しいクイズのようになりますよ。

「へびながすぎる」

請求記号：アカ

作／ふくながじゅんぺい
こくま社 2022年



なが〜いへびを、へびとは気づかず、楽しく遊ぶ動物たち。おおなわとびや、ターザンごっこ！？驚きとユーモアたっぷりの展開に、つぎつぎとページをめくりたくなる絵本。

文中の「……」で少しためて、子どもを引き付けてからページをめくると、意外な展開にみんな驚くはず！